



「食べる」という必然的行動で動物保護に携わる仕組みを提案

携わる方法については様々なことを考えました。実際に動物を引き取ることは現実的でないし、無責任なことでも出来ない…。

そんな想いの中、私たちが普段「農家として暮らしている中で出来る活動」という視点で考えたのが、この「三匹の猫米」活動です。

農家として私たちはお米を栽培し、販売します。お客様はお米を食べる目的で購入してくださいませ。

毎日の暮らしの中にある「食べる」という必然的な行動がそのまま動物保護につながるならば、多くの方が今の生活を続けながら動物保護活動の一端を担えることになりませう。

また、この仕組みの確立こそが、私たちに出来る動物保護活動の形ではないかと思つたのです。

対象商品金額の10%を動物保護団体に寄付します

「三匹の猫米」活動の対象となる商品は、誠農社が地域の耕作放棄を預かって栽培をしている特別栽培米です。

この活動に賛同頂き「三匹の猫米」をご購入頂きますと、そのご購入金額の10%が地域の動物保護団体へ寄付されます。

その寄付金を、動物たちのご飯や必要な治療費、通院費、生活環境を整えるための費用に充てて頂くことで、動物たちが少しでも心地よく暮らせるための一助となればと思つていきます。

また、私たちが暮らしていく中で、誰しもが無理なく動物保護活動に携われる仕組みを確立させ、これからも末永く続けていける活動にしたいと考えています。



(写真右上) 動物保護には、去勢手術後の様子を必ず確認してください。



(写真右下) 生活に必要が猫は、良き野良猫を送りたくて、怪我や病気を患うのを防ぐため、必ず去勢手術を受けてください。

最後に…



(写真上) 誠農社は地域の農家さんが耕作できなくなった田んぼを預かってお米を作っています。三匹の猫米はこの田んぼで栽培し、**特別栽培の許可を得たお米**です。「地域貢献活動」という意味においては耕作放棄地への取り組みも、猫米活動と同じ意味合いを持っています。

昨年までは、この田んぼで栽培したお米は米問屋さんに一括で販売をしておりました。限られたマンパワーでは小売りするところまで人手が回らないという現状があったからです。しかし、この猫米の企画をスタッフみんなに共有したところ、「例え今までより大変になったとしても、誠農社として行うべき活動だと思ふ」と全員が快く賛成してくれ、一致団結のもと、始めることができました。

私たちは作物(命)を作り、たくさんの方の命を頂くことで自分の命を繋いでいます。だからこそ、お互いさまの気持ちで生きている場所を探している動物たちの為に活動をしていきたいと考えています。

ご賛同頂きましたら、精一杯の心を込めてこの活動を遂行させていただきます。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。

特別栽培米 「三匹の猫米」ご注文票

寄付金の活動報告は、誠農社のHP等で定期的にご報告致します。

店頭販売が始まるまで、事前のご予約を受付けております。下記にご記入の上、母屋事務所にお持ちください。

商品は10月以降、準備ができ次第のお渡しとなります。(現地受け取りか、発送かをお選びいただけますが、発送の場合は着払いとなります / 誠農社オンラインストアからもご購入頂けます) **検索は「誠農社」でお願いします**

三匹の猫米注文内容 (¥10,000以上お買い上げの場合、送料が1回無料です/1回の配送が2個口以上になる場合、2個目から着払いです)

名前 (フリガナ)	電話 (連絡のつきやすい番号でお願いします)
<input type="checkbox"/> 2kg (¥790 税込) × 個 <input type="checkbox"/> 5kg (¥1,900 税込) × 個 <input type="checkbox"/> 10kg (¥3,800 税込) × 個	住所 〒 -
合計金額	メールアドレス
円	

「三匹の猫米活動」

農家として動物保護に携わる仕組み作り



動物保護に

携わりたいたいと思っただ出来事

私は誠農社で働いているスタッフの一人です。

誠農社は、農薬・化学肥料不使用のお米や無花果の栽培、地域の耕作放棄地への取り組みなどを通じて、未来に生きる子ども達へ豊かな命ある大地を残していこうと、日々、活動をしており、規模としては、スタッフ七人ほどの小さな会社です。

二年ほど前、誠農社の敷地内で親猫とはぐれてしまい、一人で泣いている生まれたての子猫を保護しました。立て続けに、我が家の敷地内でも生まれたての子猫が迷い込んで泣き叫んでいた為、その子猫も保護することとなり、もともと暮らしていた先住猫（この猫も保護ネコ）と合わせて三匹の猫との暮らしを始めました。

しかし、今回は、タイミングよく私が保護できましたが、何匹も何匹も保護できる訳ではありません。でも、保護しなければ生き延びることが出来るとは思えない。そんなことを考えるようになり、「動物保護に何かの形で携わりたい」と日々考えるようになりました。



誠農社の田んぼと無花果畑の様子



誠農社として

取り組む理由

ある日、誠農社の社長にその想いを話す機会がありました。

誠農社は農業生産法人として、耕作放棄地への取り組みや、農家の空き家問題等々、地域の貢献活動にも積極的に取り組む努力をしてみられました。なぜなら、農家は地域の方々との繋がりがとても大切だからです。

そんなことから、社長は話を聞いてすぐに、「動物保護も大切な地域貢献の一つ。誠農社として出来る形で取り組んでいこう」と前向きに考えてくださり、農家として出来る取り組み方を考えることになりました。



保護した当日の様子



（イラスト紹介）誠農社ブランドの一つである「漢方農法米」の題字も書いて頂いた書家の紅珠さんに、猫米のイメージ画を描いて頂きました。米袋も紅珠さんのイラストでご用意致します。紅珠さんも愛猫家で保護ネコを家族に迎えています。

農業生産法人 誠農社

埼玉県加須市油井ヶ島 1393-1

電話 0480-53-4651 FAX 0480-53-4652